

# 私にも 言わせて! 第30回

## やっぴみよー! ひらめきを信じて びわ湖大津の公衆衛生医師より

私は平成4年に大学を卒業したあと、内科医として職業人生をスタートしました。研修医だったころ、週末や夜間に消化管出血の患者さんの救急対応に悩まされたので、「医師というからには緊急の処置ができて一人前」と考えるようになり、消化器内視鏡の道を進むことに決めましたが...

### 悩み始めた進路

内科医となつてから大津市保健所へご縁をいただくまで、昼も夜も正月も...ひたすら呼び出しを受ける生活をしていました。

ときどきふと「1症例ごとに自分の役割は果たしているけど、それだけでいいのか?」「止血・胃ろう造設・ポリペク、この先20年もずーっと?」なんて考えが頭をよぎることもあったのですが、自分が選んだ道ですから考えないことにしていました。こういった日々の中で、「大津市の保健所で仕事をしませんか」というお話をいた

だいたのです。大津市は平成21年に中核市になった、滋賀県西南に位置する、山と琵琶湖に挟まれた美しい街です。聞いた瞬間に「!(行ってみよう、あとはなんとかなる!)」という気になり22年12月から大津市保健所で仕事をすることになりました。

### 保健所という場所での仕事

もともと臨床医生活の長かった私にとって、医局の指示であちこちの医療機関等に派遣されるのは慣れつて、企業の産業医、内視鏡専門医、訪問診療の主治医等その場にに応じて務めてきたつもりでした。

ところが保健所に入って半年もたないうちに「もう辞めよう」と考えるようになりました。「移送」「補正予算で対応」など、わからない言葉ばかりでついていけず、おもしろくなかったのです。また、感染症の「事件」も起こる中で、的確な判断をされる所長、にっこり笑いながらやり遂げる保健師さんたち、すばやく各方面の調整をされる事務系の方々、感動しながらも「ここで私が役に立てることはない。務まらない」という気持ちも膨らんでいました。

保健所に来て4年半たった現在の私ですが、この間に国立保健医療科学院の保健福祉行政管理分野(3か月)や結核研究所での研修等に参加させていただいて知識を得たこと、また立場を同じくする仲間知り合えたことですいぶん気持ちが落ち着きました。そして保健所で一緒に働く方々の多彩なパワーを目の当たりにすることで「務まらない



大津市保健所 参事  
中村 由紀子

大阪府出身。平成4年に福井医科大学卒業。京都市内の各医療機関等で内科医として勤務。22年12月より滋賀県の大津市保健所勤務。

いという気持ちで「自分のできないことはたくさんあるけど、多職種が力を合わせて対処するから大丈夫」という心強い思いに変わっていました。

### ●保健予防課

保健予防課では25年度から自殺対策として、医療機関に搬送された自殺未遂による入院患者やその家族のうち同意が得られた方に対して、臨床心理士や保健師が支援を行う「いのちをつなぐ相談員」の派遣事業を始めました。今年度から協力病院を増やし、より広いエリアに進展していきます。

### ●健康推進課

保健所には健康危機管理拠点としての役割が求められていること、また当保健所は市の保健所である

ことから直接的な災害対応をすることになります。24年度に妊産婦福祉避難所を確保するために健康推進課の主導で市内4か所の看護学校と災害支援協定を結びました。災害時に妊婦や新生児といった要援護者が避難を余儀なくされた場合、看護学校を避難施設として使用させていただくのです。混乱した状況であっても新しい命とお母さんが守られるよう、今年度は訓練を行う予定です。

### ●衛生課

衛生課では今年の春に市内943店が加盟する大津市食品衛生協会から申し出を受け、「災害時における大津市食品衛生協会の支援に関する協定」を締結しました。協定の内容は、①帰宅困難者に対する支援 ②避難所における食品衛生指導 ③生活用水の提供 ④食品関係事業者に対する食料品出の呼びかけといった支援を無償でいただけるものです。食品営業者の店舗は市内全域に分布することから実効性が高く、有事の際には有効に機能するものと期待しています。こういった申し出をいただけるのはふだんから関係団体と保健所の間

### ●保健総務課

保健総務課では25年10月に「大津市医療福祉ビジョン」を策定しました。この「医療福祉」という言葉は地域における高齢者の生活を保健、医療、福祉といった分野別のサービスが支えるのではなく、各分野が一体的かつ有機的にネット

ワークを形成して生活を支えるという考え方の下、滋賀県で使われている言葉で、各二次保健医療圏において「医療福祉ビジョン」が策定されています。

活動が継続されることになりました。この地域包括支援センターは保健所が地区担当保健師を配置する7か所の「すこやか相談所」と併設しており、医療福祉・保健の強力な連携が期待できます。

また、今年度は新たに国・県のご指導の下、市内15医療機関と138の居宅介護支援事業所の間に対話を促し退院支援ルールを作る取り組みを始めました。医療機関を退院する方が地域の医療介護の輪にすんなり入れるしくみができればよいな、と思っています。

### 最後に

この機会に最近の当保健所4課の取り組みを振り返ってみますと、保健所内の多職種チームのパワーに改めて気づかされます。「!(行ってみよう、あとはなんとかなる!)」で飛び込んだ世界ですが、この先に何があるのか? to be continuedです。



朝焼けの琵琶湖と伝統漁法のエリです/写真:大津市

注) 医師の医療福祉を考える懇話会。最終報告より